

G-free

第2号

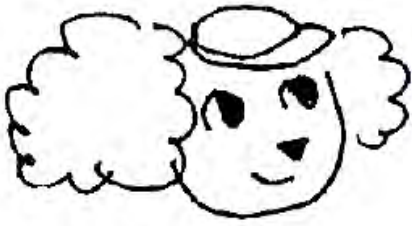
平成19年10月31日

第29回 光のアジア映画祭

Gifu Asia Film Festival 2007



市民スタッフ(G-free) 紹介



大江繁美 (ニックネーム 大江ママ)

主な担当: アジア映画祭

『楽しく、仲良く、元気に!』

個性豊かで、才能あふれる若い市民スタッフのお母さん役として「楽しく、明るく、元気に!」をモットーに映画との出会い、文化との出会いそしてお客様との出会いを大切にしていきたいと思っています。



下垣内 公子 (ニックネーム しもさん)

主な担当: アジア映画祭

『ありがとう』

市民スタッフとして主に文化センター・市民会館等にて公演などのイベントがある時に「表方・裏方」にて活躍?させてもらっている。特に表方はチケットもぎりが主で来客される方と直に接することが出来るので自分としてはとても楽しい~です。

また、裏方も観客席からでは見る事が出来ない角度で舞台や出演者のすがたを目にすることができ、貴重な体験ができる。このような活動もみんな自分の都合を優先しているのだから続けてこれたのである。

そして家で留守番をしてくれている猫の「にゃんた」と夫の存在のおかげ?と感謝している。とくに「にゃんた」には迷惑をかけているのかもしれない。活動で何度、夕餌?が遅くなり、「暗い家の中で一匹ぼっちで待っているんですウニャー」と文句を言われたことも多々あり、市民スタッフ活動も家族の応援があればこそである。感謝・感謝。

集え!!市民スタッフ!

文化事業等の活動を通して、文化・芸術に触れる喜びや楽しみを知ってもらうこと、文化・芸術活動をコーディネートする人材を生み出すことなどを目的として「市民スタッフ=G-free」を募集しています。詳しくは文化センターまでご連絡下さい!!



【活動内容】

- * 文化事業の新規企画検討
- * ぎふアジア映画祭の運営 (作品選定・企画・広報等)
- * 市民会館・文化センター主催事業の補助 (当日の受付・案内(表方スタッフ)等)
- * カメラ・ビデオなどの記録撮影
- * ホームページ・会報作成
- * その他



岐阜市民会館

〒500-8812 岐阜市美江寺町 2 丁目 6 番地
TEL058-262-8111 FAX 058-262-8114
<http://www.k5.dion.ne.jp/~civic/>



岐阜市文化センター

〒500-8842 岐阜市金町 5 丁目 7 番地 2
TEL058-262-6200 FAX 058-262-6229
<http://www.k4.dion.ne.jp/~culture/>





第29回ぎふアジア映画祭

=映像班 =

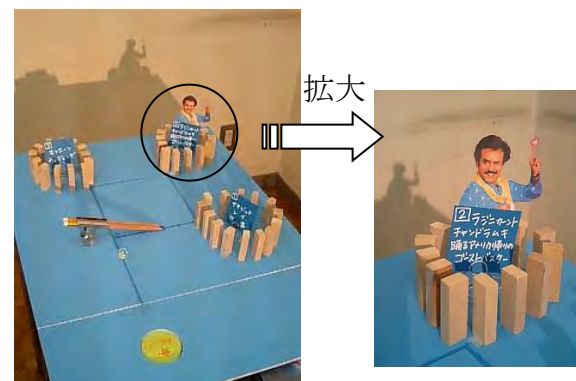
G-free 田中なぎさ

皆さんこんにちは。市民スタッフ(G-free)が運営する『ぎふアジア映画祭』が今年も始まりました。会場に足をお運びになった方はもうご覧になったと思いますが、映画上映前に流れるコマーシャル映像は、実は市民スタッフが手作りしたものなのです。そこで、今回その映像製作のエピソードを紹介します。

第一装置(通称:ラジニ君)

* ラジニ君誕生秘話

アジア映画祭スタッフの映像班は考えました。今年は何を作ろうか、と。その時スタッフの間で持ち上がったのが、某テレビ局で放映されているピタゴラ装置のようなものを作り、そこにさりげなく映画の紹介をするのはどうか、という案でした。話し合いを重ねた結果、まずは、すでにある装置をヒントにはどうか、ということになりました。これなら出来そう！と判断して製作に踏み切ったのが右の装置、通称ラジニ君です。



* 悪戦苦闘

まずは、道具揃え。土台、ドミノ、ビー玉。道具が揃ったところでとりあえず試作。ビー玉を転がし、ドミノを倒す、ところが一個目のサークルを倒し終わったところで、ビー玉は停止。うーむ、どうしたらすべてのドミノを倒せる??ビー玉が進みやすいように、ビー玉が通る軌道に溝を入れよう。

* ラジニ君完成

失敗してはドミノを建て直し、テイク数を重ねること約 70 テイク。そのうち、すべてのドミノを倒し、最後のインド特集のゴールにたどり着いたのは僅か 2 テイクのみ。そう、軽やかにボードの上を滑りドミノを倒すあの CM、完成に漕ぎ着けるまでは大変な時間を要したのです。実際の CM は僅か数 10 秒なのですが(^_^!)

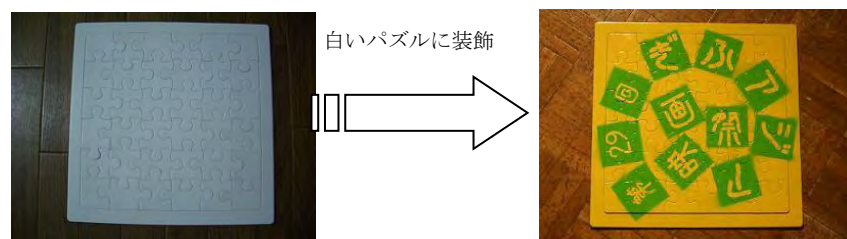
第二装置(通称:ばかうけ君)

* パズル発見

冒頭に流すことの多い、パズル CM。スタッフが 100 均で買出しをしている時にまさるパズルを見つけたことから始まりました。なんか、これ使えそう。

* お絵かき

このパズルにチラシにも使われている渦巻きのモチーフと、アジア映画祭カラーである黄色と黄緑を使って図を描くことにしました。まず最初に文字の部分。アジア映画祭のチラシの文字を切り取り白いパズルに貼り付け、黄色のスプレー土台の色付け。使用したスプレーはプラモデルなどの色付けに使われているもので、シューとかけるとシンナーの臭い。扇子で煽いで乾くの待ち、お次は黄緑の部分。



* 撮影

こうして完成したパズル。床にパズルを固定して一つ一つピースを置いていくごとに、固定したカメラで撮影しました。撮影した写真を編集して出来たのが、この作品です。ラジニ君ほどの労力は使わなかったものの、これもまた思い入れの深いものとなりました。

* ネーミング

ちなみに、通称の“ばかうけ”は、製作当時スタッフの一人がお菓子のばかうけ黒カレー味を持ってきたところから付けられました。このように、製作中スタッフは和気藹々と CM 作りをしていたのです。

アジア映画祭では、映像制作の他にも、企画、ポスターデザイン、チラシ、かわら版、広報、表方など様々な人が楽しみながら創り上げています。この会報を読まれた方、あなたの参加を待っています。ぜひ一緒にぎふアジア映画祭のスタッフとして新たな楽しみを発見してみませんか？

市民スタッフ企画vol. 3=に向って



G-free 田中敏治

* 企画会議始まる(2007. 6)

一年はアツと言う間に過ぎて行く、さあ=vol. 3=に向って、自由・勝手・気軽に議論百出…夜の更けるのも忘れて…元気一杯、この会議何回目かな…さあ会議は続く…多くの皆様に参加戴く体験型企画と G-free 自主企画の2本立という方向性も…

* 何をやる?

やはり岐阜…岐阜は当然としても、風景、歴史、産業、著書、芸術…奥は深い…手に負えるかなあ…それとも誰でも楽しめる映画はどうだろう…岐阜に関係の深い映画、映像、人物等々早急にチェック開始。

* 何かを作りたい

何を作ることが出来るのか、一般希望者の皆様と一緒に、今ハヤリのワークショップ…?短編映像…出来るかなあ…思案していても何も始まらない…自分達で試しに作ってみよう…スタート。

* 作る為の勉強会

中部経済産業局主催のプロデュース人材育成ワークショップ用資料にて勉強。3日間で映像を作るといったワークショップの内容である。何となく判った様な気分になったが…
基本的には①ロケハン②アイデア出し③ストーリー作り④役割分担⑤絵コンテ作成⑥撮影⑦編集 ウーンこれは手強いぞ…!!

* 何かを作りたい模擬ワークショップの実施

ある暑い一日。朝から夜まで1日で映像撮影を行う、ロケハンから撮影まで、一日で作るといって特攻精神で、イヤハヤ、スゴイ、メンバーが集まっている。岐阜市文化センターはスバラシイ!!



タイトルは“時間”、ストーリーの著作者 監督、想いをぶつける。主演女優は市民会館の女性職員、カメラマンは手馴れたもの。

(しかし、残暑の中 12ヶ所所撮影は大変。汗だくで奮闘。少しは痩せたかな…主婦監督 淡々と事を進める演技者に手取り、足取り指導を行う。本当に初めての監督経験…? 家族経営を長年監督してきた。実績の賜ものか…?スバラシイ

* メインテーマの決定

岐阜ロケ中心の映画“薄れゆく記憶の中で”監督も岐阜出身。=vol. 2=では、岐阜での大人の映画であったが、=vol. 3=では著者の青春映像、映画、です。老若男女の皆様期待して下さい…学園ものの淡い恋物語です。

* 会議はまだだつづく

メインの映像、映画の中でのロケ地は、現在どの様になっているのか、変化の有無の確認作業を続ける。映画に出演した地元俳優も再登場?その結果は出来れば映像で報告の予定である。これって大変。好きでなければ出来ません…又、ホールの演出、映画監督とのトークの打合せ。まだまだ準備すべき事多々あり、時間が無い。急げ急げ…

おもてかた

表方ボランティアの楽しみ



G-free 坂口佳子

演劇やコンサートが開催される時、主催者がお客様に対して行う仕事を表方の仕事です。当日券を売ったり、チケットを確認して半券を切り取ったり(チケットもぎり)、席の位置のわからないお客様をご案内したり…。

今回、私が参加したのは『松竹大歌舞伎』【市民の劇場】の中でも人気の公演です。指定の集合時間に来てみると、会場には市民会館や文化センターからの応援の職員加わり、総勢 30 人以上での事前説明。持ち場を決めて、開場時間を待ちます。この日、私はチケットもぎりの担当でした。全指定席ですが、すでに大勢のお客様がお待ちです。

さあ、開場! 夜の部か、昼の部か、間違ったチケットでないか確認しながらチケットの半券を切るは大変です。正確に素早く行うことを心がけながらさばっていきます。

公演が始まると、半券を集めて数えます。ロビーにあるモニターテレビから、客席の歓声が聞こえると、作業をしながらもちょっと気になります。

お越しになった多くの方が公演を楽しまれる様子を見て、幸せのエネルギーをおすそ分けいただくのが、このボランティア活動の一番の楽しみです。

